

モンゴル・ウランバートルの医師へ研修

市消防局に「感謝の盾」

AMD A理事長 市長に手渡す

岡山市消防局がモンゴル・ウランバートル市の医師に救急搬送研修をしたお礼として、

ウランバートル市から感謝の盾が岡山市に贈られた。研修を仲介した国際医療ボランティア

アAMD A（北区伊福町）の成沢貴子理事長らが26日、市役所を訪れ、大森雅夫市長に手渡した。



ウランバートル市からの感謝の盾を大森市長（右）に手渡す成沢理事長

研修は2月23～27日に実施。ウランバートル市救急医療サービスセンターの所長が以前、岡山市の消防態勢を視察したことがある縁で、AMD Aを通じて市に申し入れた。同センターの医師1人が市内を訪れ、消防署や医療機関で救急車での患者搬送や救命処置などを学んだ。帰国後、関係者に研修の成果を伝え、技術向上に役立つ

っているという。成沢理事長は「大変謝している」と述べ、大森市長は「岡山市」と応じた。（水野雅文）